

令和 5 年度の事業評価及び令和 6 年度の事業概要について

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

推進項目

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18 歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

◆…改善の余地がある事業

施策の実施内容 (D0)

- スポーツ少年団本部では、子ども達の大会参加の機会を確保するため、各専門部会が主体となって「酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会」を開催した（※野球、サッカー、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道の 6 競技の大会。84 チーム、909 名が参加）。
- 東北公益文科大学の体育系クラブ（男女バレーボール部・女子サッカー部）に所属する学生の協力を得て、市内 9 つの小学校において体育の授業の一部分で鬼ごっこを実施し、子ども達の体力の向上を図るとともにスポーツを楽しんでいるきっかけの創出に取り組んだ（各校 10 回）。大学生が準備してきた鬼ごっこ（ケイドロ、バナナ鬼、ねことねずみ、など）の実施のみならず、希望する学校にはスポーツ振興課職員が主体となってスポーツ鬼ごっこを実施した。
- スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントを、市民及び市内企業へ周知し実施した【3 年目】。市内ランキング上位入賞者へ市独自の特典（さつき：モルック等・表彰盾、オクトーバー：日帰り温浴施設無料券・健康プラザ無料利用券）を贈呈した。
- ◆さつきラン&ウォークに参加した企業は 11 企業、オクトーバー・ラン&ウォーク（ウォーキングの部）に参加した人数は 118 人だった。市広報等で周知を図ったが、参加者が伸び悩んでいる。
- スポーツ推進委員会主催で「第 6 回ニュースポーツ大会（カローリング、フロアカーリング）」や「第 2 回酒田市モルック大会」を開催し、地域住民の「する」「ささえる」スポーツ機会の創出に取り組んだ。
- 令和 4 年度からの継続事業として、スポーツ推進委員会主催で、スポーツ未実施者層へのアプローチとして、酒田駅前交流拠点施設ミライニの指定管理者（（株）図書館流通センター）と協力して、ミライニ図書館内でニュースポーツ（ボッチャ、モルック）の体験会を開催した。
- スポーツ推進委員会の会員研修として第 10 回酒田市スポーツ推進委員会研究協議会を開催し、東京 2020 パラリンピックトライアスロン競技において銀メダルを獲得した宇田秀生選手の講演会を、希望ホールで実施した。講演会の前日には市内 3 つの小学校（松陵小学校、西荒瀬小学校、平田小学校）に宇田選手が訪問し、講演やトライアスロン競技の説明、競技用車いすの試乗体験を行った。

○運動部活動改革については学校教育課が主管課となるが、市内の総合型地域スポーツクラブ（5クラブが参加）に対し、進捗状況の説明と情報交換を行った。

施策としての現状評価（CHECK）

- 地域のスポーツ振興を担うスポーツ振興会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を支援・推進することは、幅広い年齢層にスポーツを楽しむでもらうために有効な手段である。
- 東北公益文科大学の学生の協力を得て、小学生の体力向上を目的に実施した鬼ごっこ事業は、「運動自体を楽しんで行うことができた」「学生との交流が楽しかった」という子ども達の声が多く、事業目的を十分に達成できたと感じている。
- ◆子どものスポーツ実施率が下がった要因としては、「外遊びやスポーツの重要性を軽視する傾向が進んだこと」「スポーツや外遊びに不可欠な要素である時間、空間、仲間が減少したこと」（文部科学省 HP より）などが考えられる。
- 年 2 回のラン&ウォークイベントへの参加をきっかけに、取り組みやすいウォーキングを推進していくことは、スポーツ実施率の向上に有効な手段であるとする。
- 運動部活動の地域移行は、各中学校区を基本として可能な学区から可能な形で休日の運動部活動の地域移行を進めている（令和 8 年 4 月から土日の活動は完全移行）。

改善の内容（ACTION）／令和 6 年度以降の計画（PLAN）

- ・多くの子ども達がスポーツの楽しさを知り、日常的にスポーツに取り組む習慣を付けさせながら、健全な心身の育成を図るため、引き続きスポーツ少年団本部活動へ支援するとともに、スポーツ能力測定会を開催する事業に取り組む。
- ・子どもの体力向上と、運動やスポーツが楽しいと感じる子どもを増やすことなどを目的に、東北公益文科大学と連携して引き続き事業に取り組む。
- ・スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに酒田市として参加し、市民の運動不足や免疫力の低下に伴う健康二次被害を解消して、スポーツ実施率の向上につなげていく（令和 3 年度より継続）。
- ・関係団体と連携してニュースポーツ（モルック等）の普及に努め、スポーツ推進委員会主催のミライニでのニュースポーツ体験会の継続開催など、スポーツ機会の確保やスポーツ活動の充実に取り組んでいく。また、昨年度末にスポーツ推進委員会で実施した、パラアスリートの講演会等を継続的に開催して、共生社会の中で障がい者スポーツへの理解を深めていく。

数値目標

KPI		指標値（R6）	現状値	現状値（R5）
	成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	50% (R11 60%)	H29 31%	57.8%
	子ども（小学生）のスポーツ実施率	56% (R11 60%)	R元 51.4%	44.4%
	スポーツ行事への参加者数	37,700人 (R11 38,000人)	H28 36,180人	33,981人

関連事業

No.	事業名	指 標			事業費（千円）
		指標名	単位	R4 年度	R5 年度（決算）
				R5 年度	R6 年度（予算）
1	生涯スポーツ推進事業	スポーツ行事への参加者数	人	21,961	6,506
				33,981	9,177
（事業概要） ○市民が参加しやすいスポーツイベント（市体育大会、ラン&ウォークイベント）を開催する。 ○地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担うスポーツ推進委員の各種研修への参加を充実させる。					
2	子どものスポーツチャレンジ支援事業	子ども（小学生）のスポーツ実施率	%	47.9	3,505
				44.4	5,820
（事業概要） ○東北公益文科大学と連携し、体育の授業時間を活用して、子ども達の運動能力向上につながる鬼ごっこ事業を実施する。 ○地域で子ども達がスポーツに取り組む環境を整備するため、酒田市スポーツ少年団本部活動（各種大会、各種研修会の開催等を実施）に対し負担金を支出する。 ○市スポーツ少年団本部活動と連携した形でスポーツ・運動能力測定会を実施し、子ども達のスポーツに取り組むきっかけを創出する。					